

各拠点病院が取り組んでいるがん対策(2024年度)

1. がんの予防	
①生活習慣(喫煙) ②生活習慣(飲酒) ③感染症対策(HPV) ④感染症対策(肝炎) ⑤感染症対策(HTLV-1)	
2024年度：大腸がん死激減プロジェクトで何らかの方針が示された場合はそれに従う	
2. がん検診	
①科学的根拠に基づくがん検診の実施について ②がん検診の精度管理等について ③受診率対策について	
2024年度：大腸がん死激減プロジェクトで何らかの方針が示された場合はそれに従う	
3. がん医療提供体制	
①医療提供全般 ②病理診断 ③がんゲノム医療 ④手術療法 ⑤放射線療法 ⑥薬物療法 ⑦チーム医療の推進 ⑧医療実装	
2024年度： ①必要な患者に適切なタイミングで適切なACPが行われているかを検証する ②医師に十分な啓発を行い、パネル検査を受ける患者を増加させる ③DPC-QIの結果を組織的にフィードバックする ④臨床倫理的、社会的な問題を解決するためのカンファランスで検討する症例を増加させる ⑤病院として、ドラッグラグ、デバイスラグを最小限の期間にする ⑥院内で受けられる治験および臨床試験を増加させる	
4. 緩和・支持療法	
①緩和ケア ②在宅療法 ③リハビリテーション ④支持療法 ⑤妊孕性温存療法	
2024年度： ①必要な患者に在宅医療に関する説明が必要十分にされているかを検証する ②必要な患者にリハビリテーションが必要十分に行われているかを検証する ③必要な患者に適切なタイミングで適切な妊孕性に関わる説明と、実際に妊孕性温存療法が行われているかを検証する ④必要な患者に適切なタイミングで適切ながん治療後の生殖医療に関わる説明と、実際にがん治療後の生殖医療が行われているかを検証する	
5. 個別のがん対策	
①希少がん ②難治性がん ③小児がん ④AYA世代のがん ⑤高齢者のがん ⑥離島・へき地	
2023年度： ①院内マニュアルの「高齢者機能評価の手引き」を改訂し、テンプレートを電子カルテに導入し、高齢者機能評価が導入しやすいようにした	
2024年度： ①院内で受けられる治験および臨床試験を増加させる ②小児がんの長期フォローアップ外来を拡充させる ③高齢者機能評価が確実に行われるように啓発を行う	
6. 共生	
①相談支援 ②情報提供 ③デジタル化 ④就労支援(医療機関側) ⑤就労支援(職場側) ⑥アピアランスケア ⑦自殺対策 ⑧がん患者の疎外感の解消やがんに対する偏見の払拭	

2024年度：

- ①外来初診時から治療開始までを目途に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することが 100%になるように、体制を改善する
- ②ピアサポーターが、院内で常時ピアサポートをできるようにする
- ③社会労務士や就職ナビゲータが昨年度以上に介入できる件数を増やす
- ④アピアランスケアに関する院内の手引きを制定し、啓発を行う

7. 基盤

- ①研究の推進 ②人材育成の強化 ③がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 ④がん登録の利活用の推進
- ⑤患者・市民参画の推進

2024年度：

- ①各講座が、北部医療圏、宮古医療圏、八重山医療圏の医療機関に医師を派遣しているかを調査する
- ②がん対策の進捗状況がリアルタイムでわかるようなシステムを改善し、運用する